

## 「家族療法研究」投稿要領

1. 家族療法、家族研究に関する未発表の論文を掲載する。投稿者は共著者を含め一般社団法人日本家族療法学会会員に限る。他誌に投稿中、印刷中の論文は受けつけない。
2. 投稿の採否は「家族療法研究」編集委員会が決定する。投稿は複数の査読者（編集委員・査読委員）によって審査される。
3. 投稿の締め切りは毎年6月末、10月末とする。
4. 採用された原稿は下記の各欄に掲載される。投稿の際に掲載希望欄を明記すること。
  - (1)「研究報告」質的研究、量的研究など独創性のある研究論文。
  - (2)「事例研究」1事例もしくは複数事例に関する研究で、臨床的に活用できる新たな知見や技法を示す論文。
  - (3)「総説」家族に関連した問題で、最近の国内外の研究・報告の知見を総論的に記述し、加えて筆者のオリジナルな見解を展開したもの。
  - (4)「実践報告」家族療法、家族支援にかかわる実践現場での活動や取り組みについての報告。
  - (5)「資料」調査報告等、資料として価値があると判断されるもの。
5. 原稿の執筆について
  - (1) 症例の記述は個人のプライバシーについて十分に配慮し、倫理的原則に則った発表であることを明示すること。対象者に文書または口頭で同意を得た場合、所属機関の倫理委員会等の承認を得た場合は、その旨を論文中に記載する。プライバシー保護に関する責任は投稿者が負うものとする。
  - (2) 投稿の際にはカバーレターを作成し、**①**氏名、**②**所属、**③**連絡先（郵便物を受け取れる住所・メールアドレス・電話番号）を明記し、**①**と**②**は欧文も記載する。本文とは別にタイトルページを作成し、**①**掲載希望欄、**②**論文題名、**③**索引用語（Keywords）5個以内と**②**と**③**の欧文を記載する。「研究報告」「事例研究」「総説」には、**④**欧文300語以内の要約およびそれに対応する日本語訳をつける（欧文はネイティブによるチェックを受けること）。カバーレターとタイトルページは規定枚数に含まない。
  - (3) 規定枚数は、「研究報告」「事例研究」「総説」はA4用紙を40字×40行に設定し8枚以内、「実践報告」「資料」は6枚以内とする。図表は必要なもののみ簡潔に作成し、面積に応じ規定枚数に含める。本文の1頁目から頁番号を振ること。
  - (4) 原稿は原則としてワードプロセッサで作成し、横書き、新かな、常用漢字、算用数字、西暦を用いる。

句読点は「,」「。」を用いる。

- (5) 見出しは、1→1.→1)の順に階層化する。
- (6) 外国の人名、薬品名は原語で、術語は日本語を用い、必要な場合のみ（ ）内に原語を補う。
- (7) 文献の引用：本文中に文献を引用する場合は、著者名と発行年を明記する。著者が3名以上の場合には筆頭著者のみ記載し「ら」「et al.」で省略することができる。例：〇〇ら（2017）によると……／……とされてきた（〇〇 et al., 2017）。
- (8) 文献一覧：本文中で引用した文献はアルファベット順にならべ、本文末尾に「文献」の見出しで一覧として挙示する。著者が3名以上の場合は筆頭著者のみ記載し、「他」「et al.」で省略することができる。文献一覧は規定枚数に含む。

### 表記法

〔書籍〕 著者（発行年）. 書名. 出版社.

〔書籍の章〕 著者（発行年）. 論題. 編者（編・ed.）. 書名（pp. 頁 - 頁）. 出版社.

〔邦訳書〕 著者（発行年）. 書名. 出版社. 訳者（訳・監訳）（発行年）. 書名. 出版社.

〔定期刊行物〕 著者（発行年）. 論題. 誌名, 巻（号）, 頁 - 頁. ※頁がない場合、論文番号あるいはdoi:

〔ウェブサイト〕 著者（発行年）. 論題. [URL]（取得日）

### 表記例

Bateson, G., et al. (1956). Toward a theory of Schizophrenia. *Behavioral Science*, 1 (4), 251-264.

Kerr, M. E., Bowen, M. (1988). *Family Evaluation: An approach based on Bowen theory*. W. W. Norton. 藤縄昭・福山和女（訳）（2001）. 家族評価：ポーエンによる家族探求の旅. 金剛出版.

中村伸一（2013）. 多世代伝達モデル. 日本家族研究・家族療法学会（編）. 家族療法テキストブック（pp. 80-84）. 金剛出版.

植林理一郎, 他（1994）. 学校現場におけるシステムズ・コンサルテーションの可能性：滋賀県での「さざなみ教育相談」の経験から. *家族療法研究*, 11 (2), 99-107.

日本家族研究・家族療法学会（2013）. 家族療法テキストブック. 金剛出版.

※欧文書名・誌名はイタリック体とする。

6. 投稿掲載後、1論文につき別刷30部を贈呈する。通常制作費を超過した際は、投稿者の実費負担となる。
7. 投稿の送付先は、金剛出版「家族療法研究」編集室（〒112-0005東京都文京区水道1-5-16）とする。
8. 投稿要領に明記されていない事項は編集委員会が判断する。

附則 この規定は、2018年4月1日から施行する。